

やすらぎ

平成22年1月1日
〔第129号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

あけましておめでとうございます

平成21年度は大変な年でした。これまで考えられなかったような悲惨な事件が、家族の間にも頻発するようになりました。家族を愛し、国を思い、責任を果たす良き日本人はどこへ行ってしまったのでしょうか。

良い事もありました。天皇陛下御在位20年、御成婚50年と、誠にめでたいことでした。そして私達の目標、

1.道徳日本の建設に向けて

- ・「家庭・地域の教育力の再生」をめざします！



- ・「学校における道徳教育」を支援します！
- ・「道経一体の経営に基づく企業づくり」を推進します！

2.お世話活動で「力ある事務所」づくり

この目標に向けて御所モラロジー事務所もがんばって行きたいと思います。

今年も本部主催の維持員研修会を開催したい。去年の維持員研修会は32名の参加でしたが今年はせめて40名以上の参加をお願いしたいと思っています。モラロジーの原点にたちもどると言う点では維持員研修会は1番の良い勉強だと思っています。

そして今年はお世話活動にも力をそそぎたいと思います。その結集がセミナーにもつながると思います。

私も代表世話人をお引き受けさせていただいて、はや5年が経過しようとしております。この5年間に私事でありますが3度のお葬式を出しました。父、兄、吉田の母です。その為この5年間、御所モラロジー事務所に対しまして何一つ実行できなかった事を反省しております。今年私達の目標に向かって一つでも実行して行きたいと思っています。

代表世話人 吉田 実

あけましておめでとうございます



「モラロジーが広まらないということは自分の心が変わっていないことだということに気づいてほしい。自分が変わらずに人を変えることは、あの非凡な父（廣池千九郎博士）でもできなかった。自分の心を利己心から慈悲心に立て替えて、なおその上に起こったことをすべて自己に反省する

心になれば、気がついたときには自分の周囲に幸せな人が増えている。大切な一番の基礎は、まず自分自身が変わること」と維持員研修会資料「日孜孜」にある。

今年から初心にかえり先ず実行。

参与 細川 家成

新春を迎え諸伝統に心から感謝を致しますと共に、我が国と世界の平和と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

理事長は事あるごとに、伝統文化と歴史を否定する戦後教育に

よって、日本人の誇りや国を愛する心を育てる事なく、国民の絆がますます弱くなって行くと心配され、モラロジアンは特に歴史に学べ。日本人の良心魂を、と教えて頂いております。モラロジー団

体、地域社会、家庭の深い絆で結ばれた国造りに微力ながら努力して参る所存です。

参与 岡川 守夫

昨年の一文字は「新」ですが、私の一文字は「明」です。

何事も明るく、前向きにとり、感謝の気持を第一に、楽しく、今日より明日と悔いの無い人生を歩みたいものです。

そこで今年の地区委員としての目標は、単にニューモラル、日程表等々の配布するだけでなく、会員の皆様との絆を大切



にして、お互い人心の開発救済の精神で頑張らせて頂きたいと思えます。

地区連絡係 川崎 徹

昨年に引き続き「団体の生命力を高める事務所づくりはどのようにすればよいか」を副代表として反省と希望を持って微力



ながら、秩序、調和、発展を願って努力させて頂く所存。

今年 3 月末で役職の任期を迎えるにあたり、すばらしい後任の誕生

をご期待申し上げる次第です。

皆様方には、平素の御礼と共に本年も所期の目的達成に更なる実践とご多幸をせつにお祈り申し上げます。

副代表世話人 倉本 佳洋

研修委員として今年で3年目を迎えることとなりました。まだまだ不十分で代表世話人はじめ会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。研修委員として一番大変なことは、毎月の日割作成をしながら当番者の選択をすることです。当番が当たった方は快く引き受けていただきますよう、

よろしく願いいたします。

私事では、昨年4月に社会教育講師として理事長より委嘱されましたが、「こんな私でいいのかなあ」との思いの中、そんな私に2月18日より赤穂事務所に出講の案内が届き、びっくり仰天しているところです。今年は正月返上で原稿作りに明け暮れる新年

早々になりそうです。御所事務所の会員として恥じないように精神伝統の思いを充分にお伝えできるよう、また少しでもお役に立てられるよう精進してまいります。

研修委員長 富士 俊隆

あけましておめでとうございます

総務委員長として、あれ？これ？何？をしている間に1年が過ぎ、多大な迷惑をお掛けしていることに反省します。

今年は、全般の事務をつかさどる役（広辞苑）になる様、自分の力が精一杯発揮できる役割担当に努力します。そして、心の良い習慣が創り出せるようにしていきます。

また、毎月の運営委員会議事録作成も少し慣れてきた気がするし、確認と訂正をしていただけることが、ありがたい。（感謝）議事を積極的に聴き、内容をしっかりまとめなければならぬと思います。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

総務委員長 南 貞好



昨年は敬老キャンペーン（ニューモラル配布）以外に女性クラブ青年クラブの協力を得まして、事務所から吉祥草寺までの道路と水路のゴミ拾いを行いました。

捨てる人があるから、綺麗にし



ようという心が生まれる。腹立たしく思わないで素直に綺麗になることに喜びを感じられる1日をもう少し増やしたいと思います。

社会貢献委員長 上田 均

順調にスタッフの若返りを思っていましたのに、再度クラブ長の指名……。でも皆様のあたたかい協力支援を頂きありがとうございます。恒例の年2回実施している女性の集い等の開発活動を通して、地域の身近な方のお世話を祈ってお誘い、そして最高道德の精神を一人でも多くの人に解ってもらって幸せになって頂ける様スタッフ一同心を一つに

して努力してまいります。このためには私自身、自分を見つめ直し、更に深くモラロジーを理解する様研鑽を重ねる努力を致します。そしてモラロジーにご縁をもらった者が仲良く明るく楽しみながら活動できる事務所づくりに努めてまいります。



課題である若い方のお誘いは時代のまったただ中で活躍されている青年クラブの活動をお手伝いをする形で、あせらずに行きたいと考えております。皆様方のよろしき御指導御鞭撻の程をお願い申し上げます。

女性クラブ長 田村 佳世



文章を書くというのは確かに大変な作業かもしれない。しかし、自分の書いたも

のが活字になるのは、悪くない話だと思う。やむなく書かされている内に、上達し、「苦手」から「得意」になった人を知っている。

一人でも多くの人に「やすらぎ」に投稿してもらいたと思います。身の回りに起きた事、感じ

たことなど、写真と共にお寄せ下さい。また広報委員もできるだけ取材に出かけたいと思います。

より親しみのある、みんなの広報誌になるよう、努力したいと思っています。

広報委員長 米田徳七郎

ユニセフ募金報告書

青年クラブは12月13日(日)の10時より近鉄橿原神宮前駅で毎年恒例のユニセフ募金を行いました。時期的に子どもさんのクリスマス行事などがあり、私を含め精鋭5名の参加となりました。

昨年は桜井事務所の青年クラブと合同で行いましたが、今年は御所の底力を見せようと単独で行いました。ところが、子どもさんや女性の参加が無く、男ばかり5人が不気味な雰囲気をかもし出していたのか、募金を呼びかけても見向きもされませんでした。

30分ほど過ぎたころから、真剣に声を出していたからか、ユニセフのパンフレットを渡していたからかわかりませんが、次第に募金をしてくれる人が増えてきました。なかでも、「ギャル系」と呼ばれる化粧や服装をしたイマドキの女の子が、渡したパンフレットを見て募金をしてくれたことに、「やっぱり人を外見で判断することはいけないことだ」と改めて知らされました。

募金は至誠堂製薬さんから5,601円、橿原神宮前駅8,760円(12日の御所事務所ニューモラル勉強会で出席者からの募金



も含む)で総額14,361円になり、日本ユニセフ協会に寄付させていただきます。

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

青年クラブ 米田豊高

全国青年大会 in 四国に参加して

11月21、22日の2日間、愛媛県で開催された全国青年大会 in 四国に奈良県より29名が参加しました。

四国までは車5台で行くことになり、香芝SAに朝6時~6時15分集合。早朝の出発で皆眠そうでした。6時半出発の予定が大和時間のためか7時前。まずは与島SAに向けて各車、安全運転にて出発です。

中国自動車道は渋滞していましたが、瀬戸大橋を渡り、11時前に全車無事与島SAに到着。和気あいあいと楽しく昼食です。

“やはり四国はうどんでしょ~”と意気込んでみたところに『今うどん食べたら、これから毎食うどんやで~』と言われましたが負けずにうどんを注文。うどんはコシがあり、負けずにうどんにしてよかった~と思いながらおいしくいただきました。12時すぎに与島を出発。次にみんなと会うのは会場である愛媛武道館です。

14時30分全車無事に会場到着。会場に入ると机は座談会の並びになっており、いきなりみんなと離れ離れ。初対面の人達との同席でとても緊張したまま15時、「橋を架ける」をテーマに、全国大会スタートです。

開会式、オリエンテーションに続き記念講演。大津寄章三講師の『坂の上の雲の時代を支えた日本人の志』。日露戦争で日本のために貢献した秋山兄弟や正岡子規の話。本当に賢い人は歴史というしっかりとした根本のあるものから学ぶのだということ。炭素は土の中でいろいろな圧力がかかる中で石炭に変わるものと高級なタイヤに変わるものがある。私たちもタイヤに変われるように努力しましょうというお話を聞かせていただきました。

講演の後は青年座談会八十八ヶ所。各ブロックメンバーが8~10名のグループ、88グループに分かれての座談会。座談会というものは何度経験しても初めは少し緊張します。

まずは自己紹介に始まり、郷土紹介です。1人3分。こんな時の3分はとても長く感じるものです。

一通り終わると次は尊敬する人とその理由をこれまた1人3分。みんな困りつつも話していく間にいつの間にか笑いがおこったり、余った時間に質問したり・・・。いつの間にか仲間になっていました。私はこの瞬間が大好きです

座談会終了後は楽しい楽しい懇親会。会場は車で少し移動して松山市総合コミュニティーセンター。食べて飲んで気分は最高潮!! 理事長差し入れのボ

ジョレーヌーボをいただきました。ありがとうございます。そして理事長にもお会いすることができました。阿波踊りやクイズ大会など、楽しい企画が盛りだくさんで楽しい時間を過ごすことができました。四国のみなさんありがとう。

その後はホテルへ移動して近畿ブロックの懇親会。楽しく飲んで歌って騒いで……。全国大会 1 日目も無事終了しました。

2 日目は 9 時 30 分より高田美孝講師による講義、『青年モラロジアンに期待すること』。

感謝とは「あたりまえ」ではなく「ありがたい」ことへの気づきです。一人暮らしをして大学に行かせてもらい仕送りまでもしてもらっていた青年が、ある会社の入社試験の時に社長さんに「あなたはお母さんの足を洗ったことがありますか?」と言われ、「洗ってからまた試験を受けに来て下さい。」と言われたので母親にお願いして母親のガサガサの薄っぺらい足を洗わせてもらった時に涙があふれ出てきて本当の母親の愛というものを知った。そしてその母の愛を心からありがたいと思えるようになったというお話でした。その話を聞いているとき私も涙が浮かんできました。そして反省させられました。

また、品性という器を大きくしましょう。気配りのできる人になりましょう。よい癖付けをしましょう(大事癖、学び癖、思いやり癖)。形から真似ていくことによって自分のものになっていくのだそうです。

その後は座談会八十八ヶ所。昨日の尊敬する人の事を奥深く追及していくというものでした。尊敬する人を漢字一文字で表したり、どんなところを尊敬するのかを各自書き出していきます。最後には自分はそうなろうとしているのだという結果になります。

普段、尊敬する人についてここまで

考えたことはなかったのですが、先ほどの高田講師のお話にもあったように真似をすることによってそうなっていくように、なろうとしている自分がわかったことで尊敬する人に少しでも近づけるように真似をし実行していこうと思いました。

12 時すぎ、閉会式も終了し、座談会メンバーと来年の全国青年大会 in 京滋・北陸で必ずまた会いましょうと約束し、解散しました。

解散後は奈良県メンバーで高知観光で桂浜に行く予定でしたが、あいにくの雨で、各車ごとの自由行動になりました。

17 時からおらんく家というお寿司やさんで食事をしながら、全国青年大会の反省や今後の抱負について話し合い、楽しい時間は過ぎていきました。

20 時すぎに高知を出発し、淡路 SA にて奈良県メンバーも最後の集合、そして解散し各車帰路に着きました。

家に着いたら 2 時過ぎでしたが、とても充実した 2 日間を過ごさせていただくことができました。

大会中間かせていただいた話の中にもありました親や先人たちへの感謝の気持ちを忘れず、私たちも次の世代に橋渡しをしていけるようにがんばりたいと思います。

青年クラブ 長谷川朋美



ツアーガイド(1) 平城京 ならのみやこ

顔なじみの「たこ焼屋」の女主人に声をかけて自動車をいつもの大伴夫人(ぶじん)の碑がたつ草地に駐め、村落のある東の山路へと向かって歩いた。

古代、多武峯談山神社への表参道の玄関口であって、御破裂山から尾根くだる台地の両脇に家並みが重なり、目的の家は最も見晴らしの良いみごとな屋敷であって、玄関先で表札を確かめ、よび鈴を押した。

昨日、高殿村の縁者の主人に会って来て、事前に紹介と訪問を頼んでおいた。

「さんは、お達者ですか」と開口一番、相手の親戚の老人のことを、挨拶がわりにたずねられて、後は話が一段とはずんでいった。

長話が続いたあと醒めるのを見計らって、引き止めがあったが謝辞を述べ、裏庭へと案内されながら出て来た。そこは高所にあって三方が森と丘に籠り、一方の西側だけが眺望よろしく遠くまで見下ろせた。そこからは絵にえがかれたように、金剛葛城の山の景観が、悠然と雄雄しく、感動が胸を刺した。その下に一線と森が続き、下部に県立万葉資料館と左手に明日香民族資料館の茅葺の屋根があった。肝心の飛鳥の里は森にさえぎられ、そこからは見えなかった。茅葺の家は、昨日訪ねた老婦人が少女時代にすごした実家の移築建物である。訪ねてきた小原の里で、次々と去来するものに一瞬立ち会っていた。

藤原氏の『藤原家伝』によれ

ば、推古天皇 22 年(614)この大和国高市郡小原の里「藤原の第(邸)」で藤原鎌足が生まれた、と明記されている。だから立ち望んでいる場所から西へ向かって、広大な藤原一族が住み営む所であったろう。

飛鳥時代が去り、藤原京の時代までも、藤原不比等は、幼少の山城の国で養われていた時代は別として、この小原の里に居て、葛木の山しか見ることの出来ない、狭小な所で、朝に、夕にとこの風景と付き合い見ていたのだろうか。

藤原京の持統親政の司政者として、葛城の地に心を弱める事があった。数々のもめごと世情のさわがしさが耳に達して来ていた。葛城にあって、修験道を感じて登場してきた優婆塞・役小角が、大きく躍動していた。葛城円大臣以来、天皇の葛城県(あがた)は天皇の直轄地である。

不比等は持統女帝のブレーンであり、あの彼女の姉が産んだ大津の皇子を謀略により殺し、愛する父天智天皇に背いても、夫とともにその長子大友皇子を滅ぼした張本人が性格の持ち主。

天皇の土地を、その地位を傾ける危険な人物を取り除くチャンスをと、葛木の神と腹心韓国連広足に求めた。意に背く葛城を食う優婆塞を伊豆の大島に配流して、不比等はこの山に再び親しみを取り戻した時、なつかしい故郷を去らねばならないその



引き綱を、自ら不比等が握る運命にあった。

不比等が北へと去ってゆく時、葛城も、葛城が葛城襲津彦以来培ってきた、鉄を製くり、秦氏以来の織物を、広大な農地から天皇のため産してきた農産物のその担い手も又、時の綴りを重ねる毎に北へと向かって行った。

トーマス・マツムラ



高取城まつり

年末大掃除



平成 21 年も終わりに近づき、20 日(日)事務所の
大掃除を行いました。参加
者は 12 人。

日ごろ行っていない場所
を重点的に掃除し、備品や
書類を一斉に点検し、不要
なものを思い切って処分し
ます。事務所西側の倉庫部
分、食堂内、講堂の南側の
書庫などに、使用できない
もの、不用になった物が残
されています。

「まだ使える」「ひよとし
たら必要な時があるかも」

「捨てるのは勿体無い」などの気持が働けば、整理
は出来ません。心を鬼にして対処しました。南側の

軒下に生えていたトゲのある
花、「ランタナ」と言うそうで
すが、これも退治しました。

途中で「お茶」と「うどん」
が入り、賑やかな交歓会もあ
りましたが、これも大掃除に
はなくてはならない大事なこ
とです。

処分したい紙類は吉田紙器
の軽トラに、その他の雑品や
ゴミは森戸さんのトラックに
積み込み 11 時 40 分終了です。

2 時間足らずの格闘で、見
違えるように新鮮な環境に生
まれ変わりました(というこ
とにしておきます)



とく

人権学習会

「人権週間とは、世界人権宣言の趣旨と重要性を
広く国民に訴えかけるとともに人権尊重思想の普及高
揚を図るための習慣。1948 年 12 月 10 日の国際連合
第 3 回総会において世界人権宣言が採択されたこと
を記念して、1949 年に法務省と全国人権擁護委員連
合会が 12 月 10 日を最終日とする 1 週間(12 月 4 日
~ 12 月 10 日)を人権週間と定めた」(インターネット
より抜粋)

その 12 月 4 日、事務所では毎年人権学習会が行わ
れています。

本年は 4 年前に一度お越し頂いた、御所市人権教
育講師団講師柘田義美氏に再度講師をお願いしまし
た。受講者は 17 名。

柘田講師より「インターネットによる悪質な書き
込みや、子供たちの携帯電話によるインターネット
トラブルなども相当増加しています。子供たちの安
全を守るため、利用するときのルールを決めておく
ことが必要です」とお話しいただきました。

その後資料の中のイラスト、家の中や通りがか
った電車の中が描かれている「ある町の風景」に、「皆
さん、気になる所はありませんか?」と問いかけら
れました。「電車の中で、老人が立っている前の座席
に若者が寝ころんでいます」「女学生が座席に座った
まま話している前に妊婦が立っています」「面接会場



で学歴や出身地を聴いています」・・・など、気にな
る場面が描かれていました。イラストを見ながら、
疲れて電車で座っているとき目を閉じて前に誰が立
っているか分からないようにしている自分が恥ずか
しくなりました。

何か気になる

「気づき」をもったら、いろんなこと
が見えてきました。

「行動」にうつすことができれば、み
んなが幸せになりました。

それをつなげたら、世界に平和が訪れ
ました。

小さな気づきが大きくなります。
あなたにできることを、はじめてみま
せんか。

詩の朗読で講義が終わりました。色んな気づきをさ
せていただき、有難うございました。

上田 均

運営委員会報告

12月20日(日)午後8時から今年最後の運営
委員会が開催され、委員10人が出席しました。吉田
代表世話人は「22日は冬至です。寒さも厳しくな
り、初雪も見ました。新型インフルエンザも依然流
行中、身体に気をつけてください」と挨拶しました。

報告事項

1. 地方責任者研修会が12月6日大阪講堂で開催さ
れ、吉田代表世話人、倉本佳洋副代表世話人、
田村佳世女性クラブ長が参加しました。『平成22
年度モラロジー教育活動』の研修会でした。なお、
12月27日(日)～1月5日(火)まで大阪出張所
は、冬期休業、また、新年年賀の集いが、1月4
日(月)大阪講堂、10日(日)本部、13日(水)中
日本生涯学習センターで行われます。1月26日(火)
竹内洋二氏(岡山県倉敷事務所)の講演会が、大阪講
堂で開催されます。参加希望者は、吉田代表世話
人まで届けてください。(1事務所3～4名以内の
参加)

2. 次代リーダー責任者研修会が12月13日開催さ
れ、富士俊隆次代リーダー、山下幸則次代リーダ
ー、米田豊高青年クラブ長が参加しました。近畿
ブロック内でも奈良県からの参加者は多く、いろ
いろ研修を受けてきました。

3. 新年の集い(1月9日開催)について、現在22名
の参加申し込みです。最終締め切り日が25日(金)
です。参加される方は、忘れずに…。また、当日
は女性クラブの皆さんにお世話になります。

4. 各クラブ、他
女性クラブ

・3月4日(木)奈良県再発見ツアーが高取で行われ
ます。

・奈良県女性クラブ研修会が郡山講堂で開催され
ます。詳しくは、後日。

・新年の集いの料理は、『すき焼き』に決めました。

・12月16日(水)大阪出張所の日直に玉巻小夜さ
んと山下美智代さんが行って来ました。

・1月24日(日)女性クラブ新年のつどいを行います。
講師は井上源一氏(大和宇陀)です。

審議事項

1. 平成22年度行事計画については吉田代表世話
人と倉本副代表世話人で計画案を作成、1月の運
営委員会で審議し、2月25日までに近畿プロッ

クへ提出する。生涯学習セミナー、維持員研修会
の開催も計画に入れる。

2. 青年クラブ奈良県青年協議会の持ち回り企画は、
4月18日(日)旧奈良県立御所東高等学校体育館
で行います。2月に改めて申請に行きます。参加
予定は60～70名。内容、食事、費用の問題を
早急に決め、再び審議する。

3. 満80歳以上のお誕生日プレゼントについて、
1月生まれに該当者1名あり実施します。お届け
する日を調整します。

その他

・事務所年末大掃除で、整理した書籍がありますの
で、ご自由にお持ち帰りください。



編集後記
誰にも習わずに見よう見ま
ねでやっつてるワード、やすらぎ
編集に苦労しています。写真が
あつちへ行ったり、こちへ移動
したり、段組や文字、見出しな
ど思うようにならない。いつも
妥協の産物です。お許しを。十
二月は新年号の発行で、編集の
日にちを多く取れない。年賀状
は書かなければならないし、一
年の反省と新しい年の計画も
立てなければならぬし、雪が
降れば金剛山も呼んでいるし、
孫の世話も……。新年号は
「らしく」少し緊張してカラー
にして見ました。とく